第19講　戦争への道と敗戦

# PART3 不況の慢性化

## Chapter 1　金融恐慌と不況下の社会主義運動

目標
金融恐慌が起こったのはなぜだろう？
社会主義勢力が政界に進出できたのはなぜだろう？

### 1　金融恐慌（1927年）

1920年の戦後恐慌以来，不況が慢性化して震災手形に限らず銀行経営は不良化していた。

**1927年，憲政会**の**第一次**〔1　　　　　　　　〕**内閣（片岡直温蔵相）**の

失言（震災手形を大量に有する一部の銀行名を明かす）を契機に，

〔2　　　　　　　　〕が発生。

①発生

預金者の不安から**取り付け騒ぎ**が起こり，東京渡辺銀行などの中小銀行が休業・倒産。

②拡大

総合商社**鈴木商店**の破産による〔3　　　　　　　　〕の休業，

取り付け騒ぎの影響で十五銀行〔華族銀行〕までが休業。

※議会が閉会中であったため，第一次若槻内閣が**台湾銀行救済緊急勅令案**を提出するが，

**憲政会の協調外交に対する不満から枢密院（枢密顧問官伊東巳代治）が否決。**

内閣は総辞職し，**立憲政友会**の〔4　　　　　　　　〕**内閣（高橋是清蔵相）**へ。

③収束

田中内閣の高橋蔵相が**3週間のモラトリアム〔支払猶予令〕**を発令し，

市中銀行も2日間休業させ，日本銀行の非常貸出し・特別融資のため片面紙幣を大量に

発行。緊急勅令による台湾銀行の救済も決定し，全国に広がった金融恐慌はようやく収拾。

④結果

A　**五大銀行**（三井・三菱・住友・安田・第一）に預金が集中し金融支配を進める

中小銀行の信用は失墜。政府が合併を推奨し経営の監視も進めた結果，

市中銀行は約4割も減少した。

B　企業連合〔カルテル〕・企業合同〔トラスト〕や資本輸出が進行

C　**財閥**支配の強化

多業種にわたるコンツェルン〔独占的企業集団〕を形成。三井と立憲政友会，三菱と立憲民政党（もと憲政会）など，財閥と政党の結託が強化。

## 2　不況下の社会主義運動と弾圧

①**社会主義**勢力の政界進出

A　〔5　　　　　　　　〕の結成（1926年～）

普通選挙に対応する**合法的社会主義政党**。1925年に結成された農民労働党は，非合法の日本共産党と関係があるとして即日結社禁止処分となる。

B　**労働農民党**の結成と分裂（1926年）→農民労働党から共産党系を除外して結成

関東大震災時の迫害と，治安維持法・普通選挙法制定という状況に直面した社会主義運動は，革命的・急進的な共産主義的潮流〔左派〕と，改良的・協調的な社会民主主義的潮流〔右派〕とに分かれた。

※**労働農民党**（左派），日本労農党（中間派），社会民衆党（右派）。

C　初の普通選挙の実施（1928年）

無産政党から8名が当選し，非合法の共産党が公然と活動を開始。

②田中義一内閣の弾圧

A　**三・一五事件（1928年）**

共産党員の一斉検挙。労働農民党・日本労働組合評議会などを解散させる。

B　**緊急勅令**による**治安維持法改正（1928年）**

最高刑を**死刑**とし，無期懲役も追加。また，協力者も処罰可能となった。

※もとの最高刑は10年以下の懲役・禁錮。のち1941年に予防拘禁制度も適用。

C　道府県にも**特別高等警察〔特高〕**を設置（1928年）

無政府主義・共産主義・社会民主主義といった左翼運動の取り締まりと弾圧を業務とし，スパイ活動や拷問も行った。のち自由主義も弾圧。

D　**四・一六事件（1929年）**

共産党員を再び一斉検挙。共産党組織は壊滅的な打撃を受けた。

まとめ　不況の慢性化により銀行経営が不良化，信用不安から金融恐慌となった。普通選挙の実施にともない，社会主義勢力が政界に進出した。

# Chapter 2　世界恐慌と昭和恐慌

目標
日本が金解禁に踏み切ったのはなぜだろう？
昭和恐慌が起こったのはなぜだろう？

## 1　金解禁〔金輸出解禁〕（1930年）

①金解禁の背景

輸入品の代金支払いのために正貨〔金〕の輸出を認めることを〔1　　　　　　〕という。

国際間の金移動が自由になることで為替相場安定の働きがある。

また，金解禁は，紙幣の兌換を再開し**金本位制に復帰**することを意味した。

A　第一次世界大戦後の国際競争力不足による輸入超過

B　為替相場の動揺と下落→金本位制の下では事実上の固定相場

**1917年の金輸出禁止で金本位制から離脱**し，金本位制の自動調節作用

（物価上昇→輸入増加→正貨〔金〕流出→通貨収縮⇒物価下落）がなくなり，

為替相場が動揺。

C　欧米列国（米・独・英・伊・仏）の金本位制復帰

D　慢性的不況下の財政膨張・通貨量増大（＝インフレーション）の激化

②**浜口雄幸内閣**（立憲民政党，1929 ~ 31年）の経済政策

蔵相に前日本銀行総裁の〔2　　　　　　〕を起用。**緊縮財政〔デフレ財政〕**で

物価引下げを図り，産業合理化を促進し国際競争力を強化することを目指した。

※さらに金解禁を断行し，為替相場の安定と貿易振興，経済界の抜本的な整理を図った

A　金解禁（1930年1月）

**1929年**　9月　金解禁予告→10月　アメリカ発の〔3　　　　　　〕発生

1930年　1月　**円高状態で金解禁実施**

※旧平価の100円＝49.85ドル（円切上げ）で強気に解禁。

B　金解禁の結果→不況が深刻化し失業者が増大

輸出減少・**輸入激増**と**金の大量流出**を招く。

※金輸出再禁止を予期した財閥の円売り・**ドル買い**が流出に拍車をかけた。

C　〔4　　　　　　〕**（1931年）**

金解禁の影響で輸出が大不振であることから，

指定産業での不況カルテルの結成を助成し，統制経済の先駆けとなった。

## 2 昭和恐慌（1930〜31年）

①〔5　　　　　　〕**（1930〜31年）**の契機→背景に不況の慢性化

**1929年10月24日**，ニューヨークのウォール街における株価大暴落「暗黒の木曜日」。

※アメリカの過剰生産を主要因とする**世界恐慌**が，ソ連を除く資本主義世界全体に波及。

②経過

**輸出不振（特にアメリカ向け生糸）**，〔6　　　　　　〕による**正貨〔金〕の大量流出**。

A　都市

工場の倒産・操業短縮により失業者が増大。

B　農村→**農業恐慌**に陥る

小作料も引き上げられたが，米価の低迷

（米騒動後の植民地米移入の増加や

1930年の「豊作貧乏」など）もあり，寄生地主でさえ苦しんだ。

大根をかじる子ども

※翌1931年には東北・北海道は凶作に見舞われ，米価は不安定。

※生糸価格の下落で繭価は暴落。兼業機会も少なく，失業者の帰村が重なり東北・関東・甲信越の農村は特に大打撃を受け，**欠食児童・子女の身売り**が目立った。

③農村対策（1932〜34年）

**時局匡救事業**と称し公共土木事業を実施，農民を日雇い労働に雇用して現金収入の機会をつくった。さらに政府は**農山漁村経済更生運動**を始め，

産業組合の拡充などを通じて農民を結束させ，農村の「自力更生」を図った。

④結果

A　農村や中小企業の没落・衰退

**小作争議・労働争議**が激増。家賃・電気料金・ガス料金の引下げ要求運動や，

零細小売商人の反百貨店運動も頻発。

B　財閥支配の進展

重要産業統制法（1931年）により，資本の集中・独占が進む。

C　財閥・政党を攻撃する声が強まる

金解禁時における財閥の円売り・ドル買いや，財閥と無策な政党の結託などが理由。

**まとめ**　日本は，為替相場の安定と貿易振興のため，金解禁に踏み切った。
世界恐慌と旧平価による金解禁が，昭和恐慌を引き起こした。

# 第 19 講　PART 3　確認問題

**1** 銀行の経営悪化の失言をして，金融恐慌の発端をつくった蔵相はだれか。

① 片岡直温　② 高橋是清
③ 浜口雄幸　④ 井上準之助

**2** 総合商社鈴木商店の破産により，休業に追い込まれた銀行はどれか。

① 第一銀行　② 横浜正金銀行
③ 台湾銀行　④ 日本銀行

**3** 1926 年に結成された合法的社会主義政党はどれか。

① 社会民衆党　② 農民労働党
③ 労働農民党　④ 日本労農党

**4** 1928 年，共産党員の一斉検挙を行った事件はどれか。

① 二・二六事件　② 三・一五事件
③ 四・一六事件　④ 五・一五事件

**5** 浜口雄幸内閣の蔵相はだれか。

① 高橋是清　② 片岡直温
③ 若槻礼次郎　④ 井上準之助

**6** 浜口雄幸内閣がとった経済政策はどれか。

① 物価の引上げ　② 産業の合理化
③ 新平価での金解禁　④ 積極財政

**7** 指定産業での不況カルテルの結成を助成し,
統制経済の先駆けとなった法律はどれか。

① 重要産業統制法　② 国家総動員法
③ 産業組合法　④ 価格等統制令

**8** 昭和恐慌による農業への影響について**適切でないもの**はどれか。

① 生糸価格の下落　② 関西にとって特に大打撃
③ 米価の低迷　④ 欠食児童・子女の身売りの続出

# 第19講　PART 3　確認問題 解答

**1** 解答：①　**片岡直温蔵相**は，震災手形を大量に有する一部の銀行名を明かし，批判を浴びた。

**2** 解答：③　**台湾銀行**のほか，取り付け騒ぎの影響で十五銀行〔華族銀行〕まで休業に追い込まれた。

**3** 解答：③　②の農民労働党は 1925 年に結成されたが，非合法の日本共産党と関係があるとして即日結社禁止処分となる。

**4** 解答：②　③の**四・一六事件**は，1929 年に再び共産党員を一斉検挙した事件で，共産党組織は壊滅的な打撃を受けた。

**5** 解答：④　**井上準之助蔵相**は前日本銀行総裁。

**6** 解答：②　物価の引下げ，旧平価での金解禁，**緊縮財政〔デフレ財政〕**による産業の合理化が正しい。

**7** 解答：①　**重要産業統制法**は，金解禁の影響で輸出が大不振であることから制定された。これにより，資本の集中・独占が進んだ。

**8** 解答：②　東北・関東・甲信越の農村が特に大打撃を受けた。兼業機会も少なく，失業者の帰村も重なったためである。